

千秋だより 第129号

発行日 令和6年2月1日
発行者 千秋町連区地域づくり協議会 千秋町佐野字郷西48番地（一宮市千秋町出張所内）
電話 28-9010 FAX 76-0099 ウェブサイト <https://138chiaki.org/>

地域づくり協議会 令和5年度を振り返って



地域づくり協議会 会長 青山 紀喜

令和5年度は新型コロナウイルスによる影響もかなり収まり、令和元年度以降、中止されてきた行事も数多く実施されました。これは協議会役員の皆様や、町内会役員の皆様、公民館役員の皆様の大変なご尽力の賜物であり、また千秋町全ての町民の皆様のご協力のおかげであると考えます。

来年度もより住みやすい千秋の町づくりに、微力ながら努めさせていただき所存でございますので、よろしくお願いいたします。

福祉部会（平子 昌三 老人クラブ連合会会長）

令和5年度は新型コロナウイルスが第5類になり制限がなくなったため、老人クラブの各種行事は従来の形式、規模で開催できました。三世代交流事業は、7月に「ラジオ体操」（2,500名参加）、10月に「皆で歩こう会」（83名参加）を開催しました。「皆で歩こう会」では、子どもたちの参加が少なかったため、来年度は多くの子どもたちに参加してもらえような方法を検討したいと思います。

また、長らく中止していました「末広大学」を10月講座（74名参加）より再開することができ、社会見学（104名参加）もコロナ禍前のように開催できました。

今後も、各種の行事を予定しますので、ご理解とご協力をお願いします。10月講座講師 経大事勝笑氏

高齢者支援部会（安藤 達也 民生委員・児童委員協議会会長）

令和5年度はコロナ禍での規制が緩和され、千秋町連区においても様々な事業が開催されました。

9月10日に「敬老会」、11月17日には「ひとり暮らし高齢者の集い」が開催され、高齢者支援部会である民生委員・児童委員もこれら事業の運営に携わらせていただきました。

今後も、高齢者の方々への支援につながる活動を継続してまいります。地域の皆様には引き続き、ご理解・ご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

地域学習部会（長谷川 武 公民館館長）

新型コロナウイルスによる制限がなくなり、三大事業もほぼ完全に復活させることができました。

盆踊り大会は、多くのちびっこが集まり過去最高の人出で賑わいました。

町民運動会は、町内会の理解と協力により防災訓練と同日に開催（10月29日午前中）することができ、長年の懸案であった開催時期の変更が実現しました。

文化展は、前日（文化の日）に特別事業「親子で芸術鑑賞」を開催しました。

来年度は、「社会教育の^{とて}砦」という公民館の原点を再認識し、公民館事業の枠にとらわれず、学校・町内会・各種団体との連携・協力をさらに深くし、新しい形で実施できるように、工夫していきます。



盆踊り大会



町民運動会